

## デジタル技術を活用し、発注図書確認の精度向上・スピードアップを図り、インフラ整備の効果を早期に発現させたい！

### 課題



- 工事発注時に作成する発注図書（図面、内訳書、特記仕様書、数量計算書）の不整合と金額の妥当性についてAI等のデジタル技術※により判別し、これにより、
  - ① 契約事務における予定価格の誤りをなくしたい（予定価格に誤りが生じると契約手続は中止となり、手続をやり直す必要があるため、事業の進捗に影響が生じる）
  - ② 発注図書の事前確認（チェック）を省力化し、工事を円滑に進めるための調整業務といった行政職員が担うべき業務に注力できるようにしたい。

※ ルール情報を設定し、データを読み込ませると判別結果が得られる仕組みを想定

### 背景

- 建設局では、道路・河川・公園等の整備・維持管理のため、毎年多くの工事を発注している。工事発注にあたっては、①職員が図面・数量計算書・特記仕様書を作成、②それらを基に金額を積算し、発注図書として仕上げる。
- 現状では、職員が作成した発注図書に対し、別の職員（照査担当者）が寸法や単位等の入力値、使用機械・材料等のミスなどの不整合、金額・記載内容の誤りがないか確認している。
- ほとんどの工事は内容が複雑であり、積算項目が100工種を超えるものが多く、職員による事前確認の負担がとても大きい。
- 他の業務と並行して限られた時間に対応するため、チェックが十分行き届いていない場合がある。

### 現場からのコメント



- 開発工程で参照するデータとしては、河道整備工事（川幅を広げたり河床を掘り下げる工事）の発注図書を、PDF・Word・Excel・CADデータ等で提供する。
- 複数のデータを提供し、それを基に試作を行うことで、課題解決に向けた最適な手法の検証を行いたいと考えている。

### 現場情報

※現場への直接のご連絡は行わないでください

#### 【担当部署名】

- ① 総務部企画課
- ② 第三建設事務所工事第二課

#### 【担当業務概要】

- ① 局の企画、積算システム運用業務
- ② 管内の河川整備及び維持管理